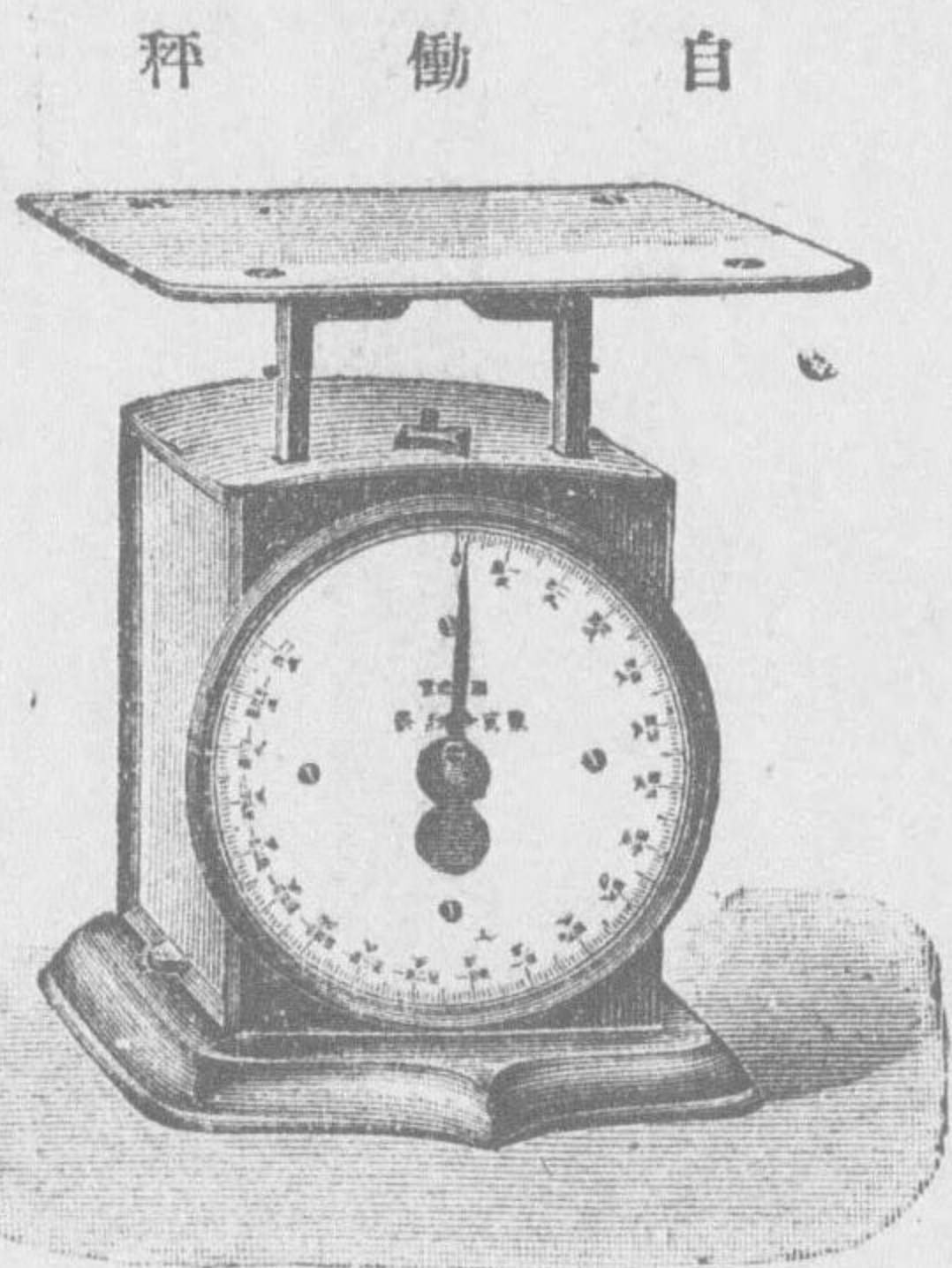
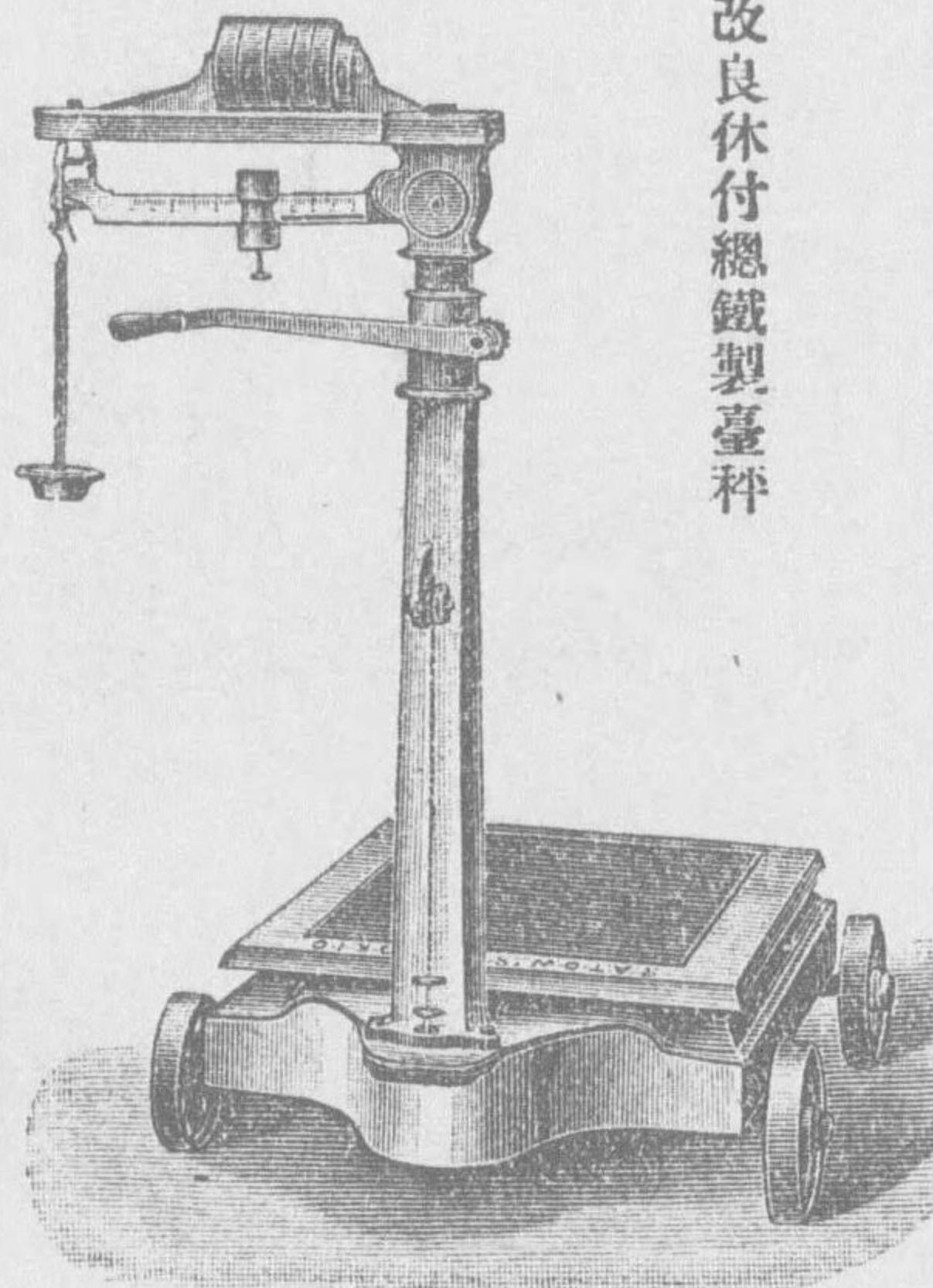


# 製品目録



自 動 秤



改良休付總鐵製臺秤

- 臺秤、天秤分銅
- 自働秤、金屬桿秤
- 釣懸秤、礦山用臺秤
- 架空式桿秤、荷馬車掛臺秤
- 鐵道用貨車掛衡橋
- 自働式機關車掛衡橋
- 自働自記貨車掛衡橋
- セメント試驗器
- 鐵線試驗器
- 材料強弱試驗器
- スプリング試驗器

一弊所ハ明治八年以來衡器製作業ニ從事シ常ニ本業改良ノ指導者ヲ以テ任ス  
一弊所改良ノ臺秤其他特許ヲ得タルモノ拾壹種アリ  
一弊所ハ總テ機械的製作法ナルヲ以テ正確ナル器物ヲ迅速ニ製作スルコトヲ得  
一弊所技術監督者ハ多年英米獨佛ニ留學シテ衡器製作機械工學鑄造法ヲ研究シタル英國工學士擔任ス  
一弊所ハ東京府下王子町ニ三千五百餘坪ノ工場ヲ有シ四十馬力ノ蒸氣力十七馬力ノ瓦斯機關トヲ以テ八十餘臺ノ機械ヲ運轉ス  
一弊所ハ御望ニ依リ如何ナル衡器ニテモ設計製作可仕候  
一弊所製作品ノ重ナルモノ及各博覽會ニ於ケル受賞左ノ如シ

## 受賞

一明治十四年第二回内國勵業博覽會ニテ

有功三等賞

一明治二十八年第四回内國勵業博覽會ニテ

テ有功二等賞

一明治三十年廿五年紀念博覽會ニテ有功

銀牌

一西曆千八百九十三年北米合衆國市俄古世界大博覽會ニ於テ特優賞牌

一明治三十六年第五回内國勵業博覽會ニテ

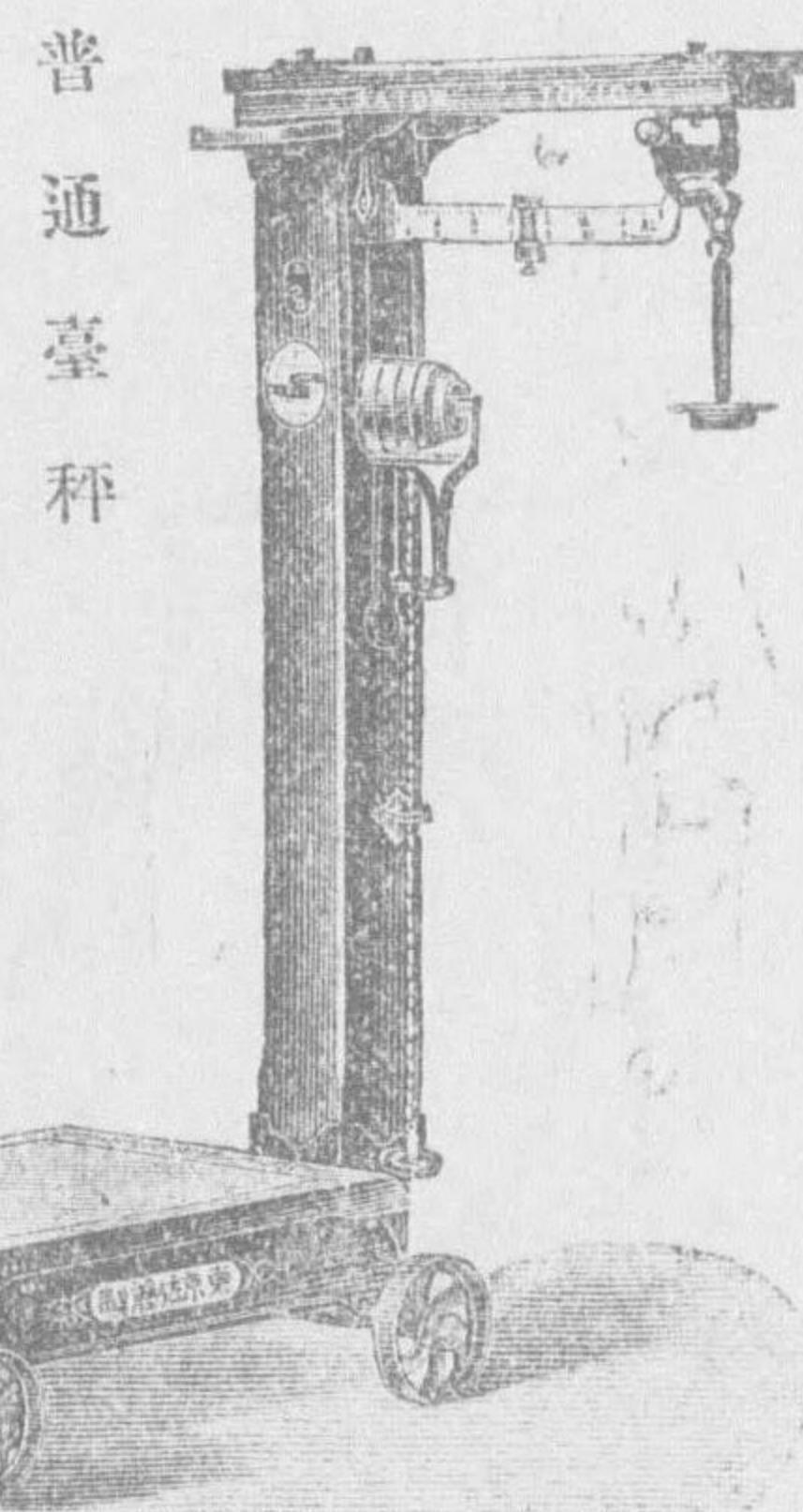
テ二等賞牌

一西曆千九百年佛國巴里世界大博覽會ニ

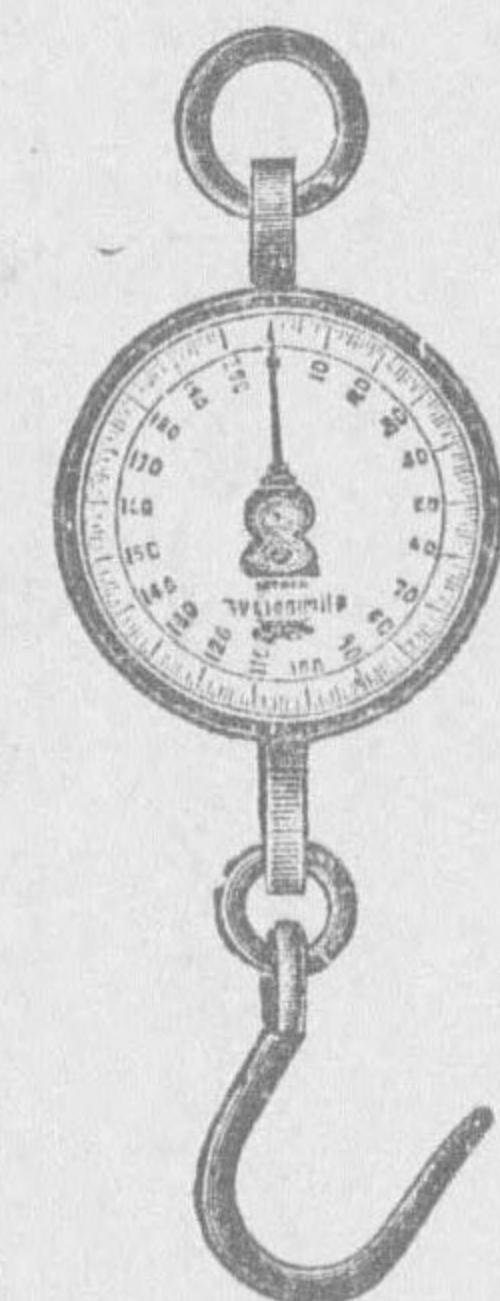
テ名譽銀牌

一明治三十九年凱旋紀念五一共進會ニテ

有功金牌



自 勵 秤



一明治四十年東京勵業博覽會ニテ一等賞牌

一明治四十二年發明品博覽會ニテ銀牌

東京市神田區(今川橋)南乗物町一番地

## 佐藤度量衡店

店主 佐藤芳三郎

電話本局 一七八四  
番

電話署語(サヨ) 九七一  
振替口座東京一九二八三番



東京府下王子町  
佐藤英國工學士  
佐藤王子製作所

技術監督者 藤衡治  
電話下谷一三八三番

實用  
新案

## 岡積式量器

り

鹿兒島市平ノ町四十一番地



## 岡積製作所

電話特長三二三番

振替口座福岡五二三番



東京  
以北

## 一手販賣委託

●本所は薩南避遠の地にあり御得意各位の御不便不尠を  
以て御便宜を圖り今般 東京市京橋區南  
傳馬町二丁目守隨商店 に東京以  
北一手特約販賣を委託仕候間倍舊御用命之程奉懇願候

●詳細なる價格表は特約販賣守隨商店へ御申聞次第送呈  
可仕候

## 營業品目

### 化學用量器 製作販賣

理化學用玻璃器 細菌學用玻璃器  
醫療用玻璃器 其他玻璃器一般

弊店製作量器記號は

# 東京S

に御座候間御承知置奉願候

東京市日本橋區本町一丁目九番地

多勢商店 斎藤熊三郎

電話本局二六二一  
振替東京一八〇六五

# 量器全製部作



製作記號

城塚源藏

工場

東京市深川區西平井町七七  
電話本所一六五一

電話本局二〇五七

東京市神田區千代田町六番地

●營業品目直段表進呈

●大工道具  
●打刃物類  
●曲尺  
●竹尺  
●麻布尺  
●水平器製造  
●三河砥

卸川口度器販賣所

東京神田區元岩井町三十八番地

振替東京壹貳九七七番

竹尺製作部

相州松田町

電話本局四貳七六番

振替東京九〇三貳番

川口造吉本店

越後國三条町

●繁昌ナル店良品賣ル安價ニ迷ハズ良品撰ベ  
●正鋼製象眼入曲尺  
●黃銅製裏鐵張曲尺  
●御使用者ノ最モ大切ナル角度ニ鋼鐵ヲ固着シ有レ  
●電珠ノ如ク曲尺界ノ大王タリ  
●新案實用  
●角度ニ差異ヲ生ズル事無キ實用品ナリ

# 度器全部製作販賣

東京市京橋區木挽町一ノ十一

記號 東  
  
小美川米次郎

今回業務擴張の爲め左記の處へ移轉仕候間倍  
層御愛顧を賜はり度候

竹製度器。木製骨象牙金屬製  
卷尺洋服尺洋角分度器類製作

東京市淺草區猿若町一ノ二六番地

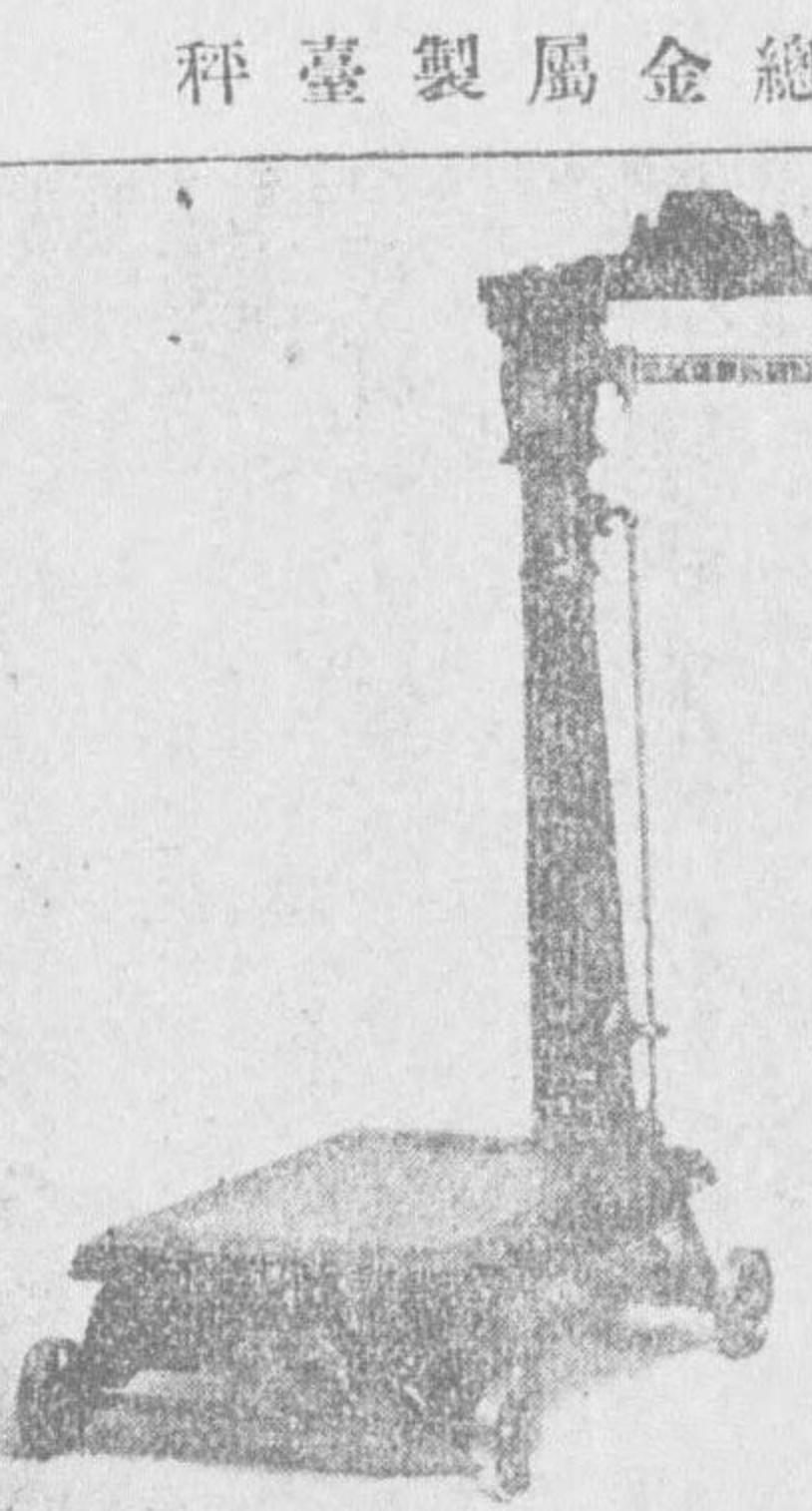
記 號  
**今 鴨 下 龜 之 助**

# 象木竹 牙製製 縮尺專門

- 尚其他注文に應じ何品にても製作可仕候
- 詳細なる定價表は御一報次第御送付可申候

東京市淺草區山之宿町三十七番地電車通

記號 父渡邊久次郎



秤臺製金屬

割價

創業・特  
祝・特  
割引



(中願出許案新)

週年

衡器製作販賣

赤堀五作

東京市本所區德右工門町五十一番地

(工場所在) 同町

振替口座二〇三一番

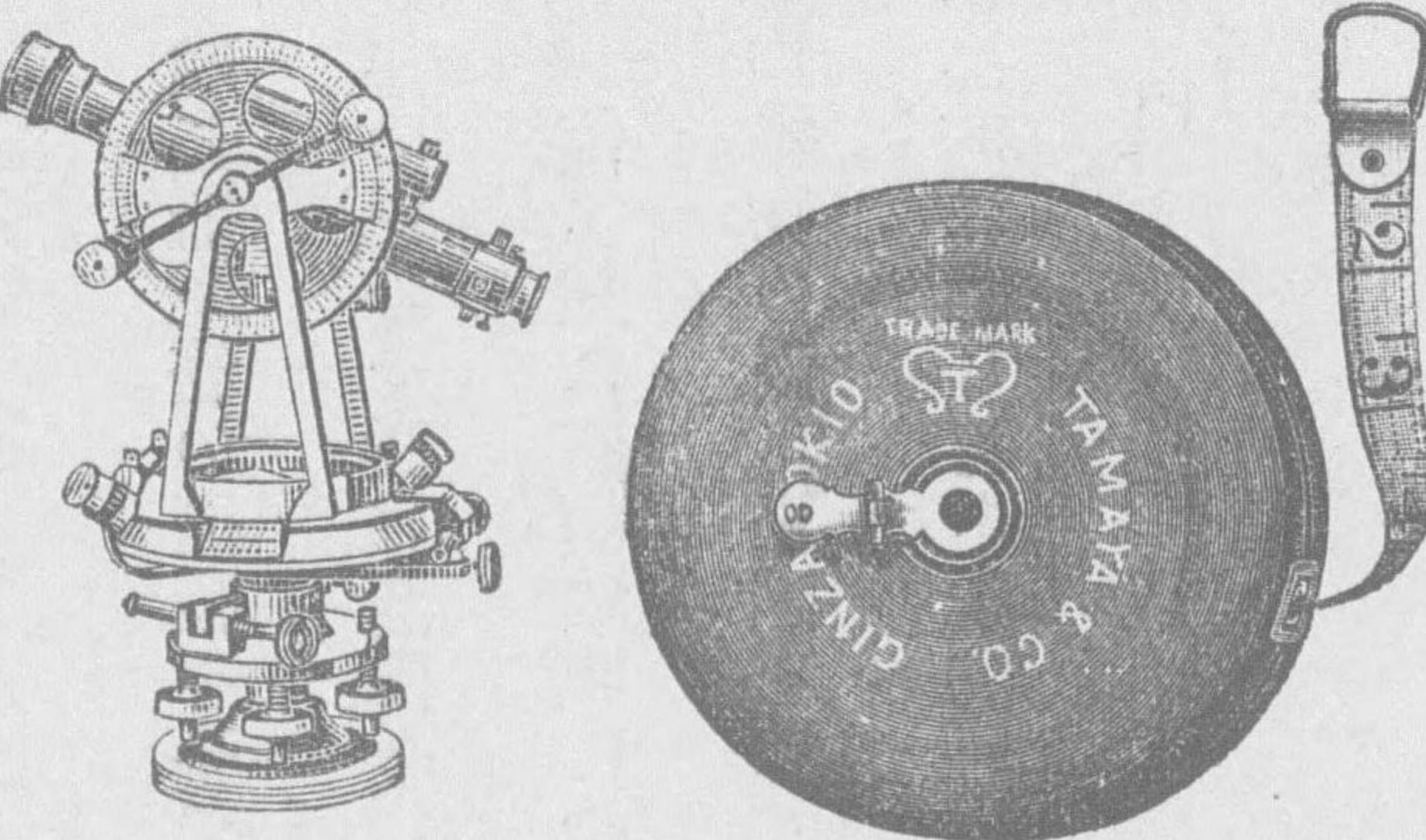
電話本所一六三〇番



標商

秤桿皿上製屬金總

# 測量學術製作用器諸械器賣販作其圖製度象氣他類械賣



名社合會  
玉屋商店  
東京銀座三丁目  
電話京橋長三三三〇〇〇六七五六四四八八  
東京京四四四八八八  
場工  
東京府下青山千駄ヶ谷原宿  
電話芝二二五五五五二

候仕可送郵第次越申御ハ表價定版年二正大  
ハ方ノ用入御錄目ルナ細詳  
候仕可送郵第次金送御錢十五金費實

●弊店ノ商品取次販賣ノ方ハ有利確實ニシテ恰モ自己製作品ヲ賣ルノ感アリ

# 度器全部製造作

弊所は鍾尺の製作には獨特の技術を有し他の製作者の競争を受くることなく現下全國一手販賣の状況に在り

號 記



瀧澤度器製作所

電話京橋二六五四番  
振替東京一一四三五

# 業務擴張告廣

弊店儀從來新潟縣長岡市に於て度量衡三器の製作に從事罷在候處先般業務の擴張を企て更に東京府下に於て衡器製作の免許を受け衡器全般の製作を開始仕候處工場の設備も茲に整頓致候に付材料は精撰に精撰を加へ製作器物の優良正確を期し取引は誠實迅速を旨とし御高需に應じ可申候間何卒倍舊御用命の程

奉希候 敬白

大正二年八月

## 度製圖器販賣機械專業

●定價表は御報次第送呈す

東京市芝區新櫻田町十二

## 保谷製作所

製圖諸機械 東京市神田北神保町二番地  
度器販賣 文房具 友林堂

衡器全部製作

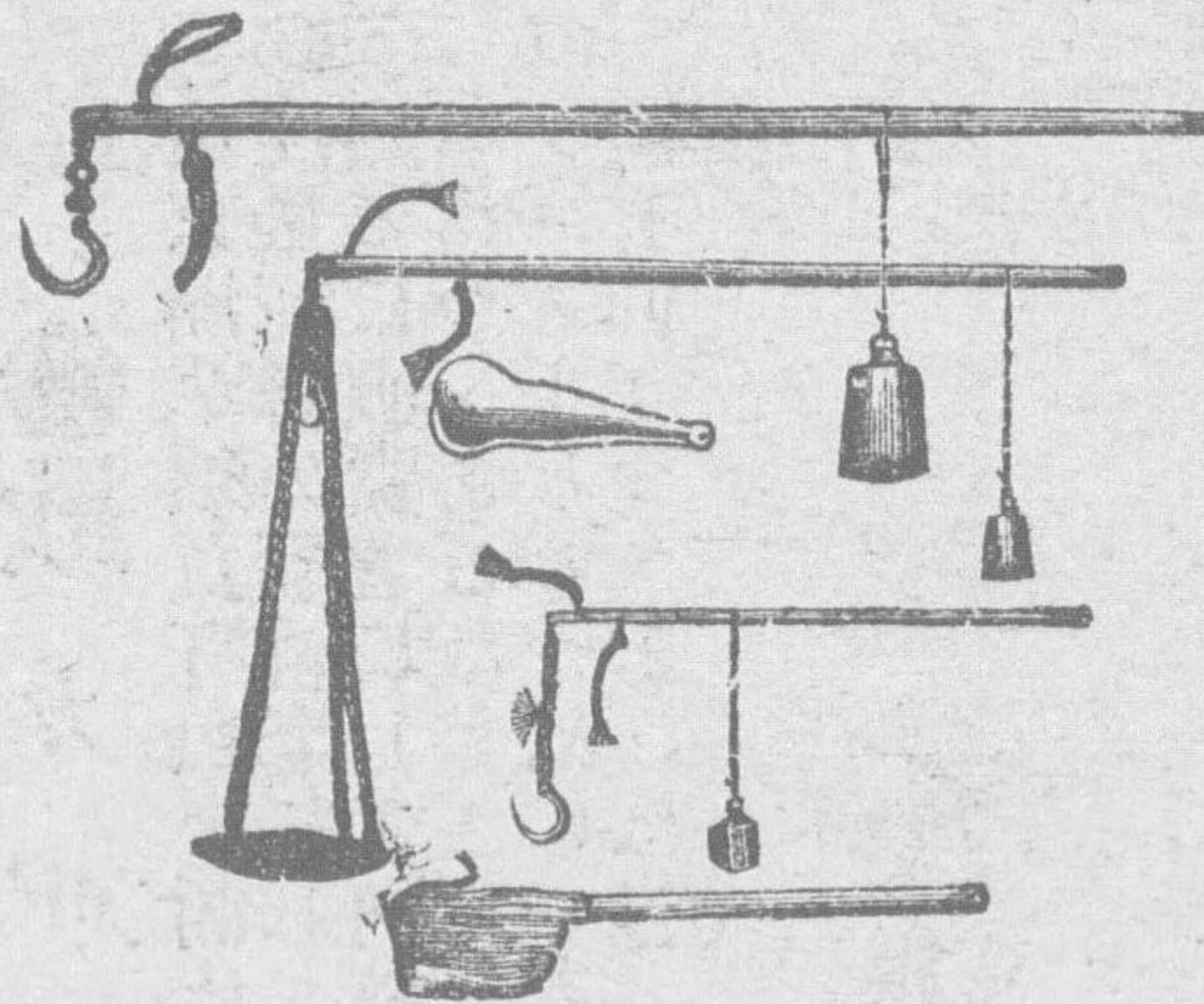
京 東



小林度量衡店

東京市本所區相生町壹丁目

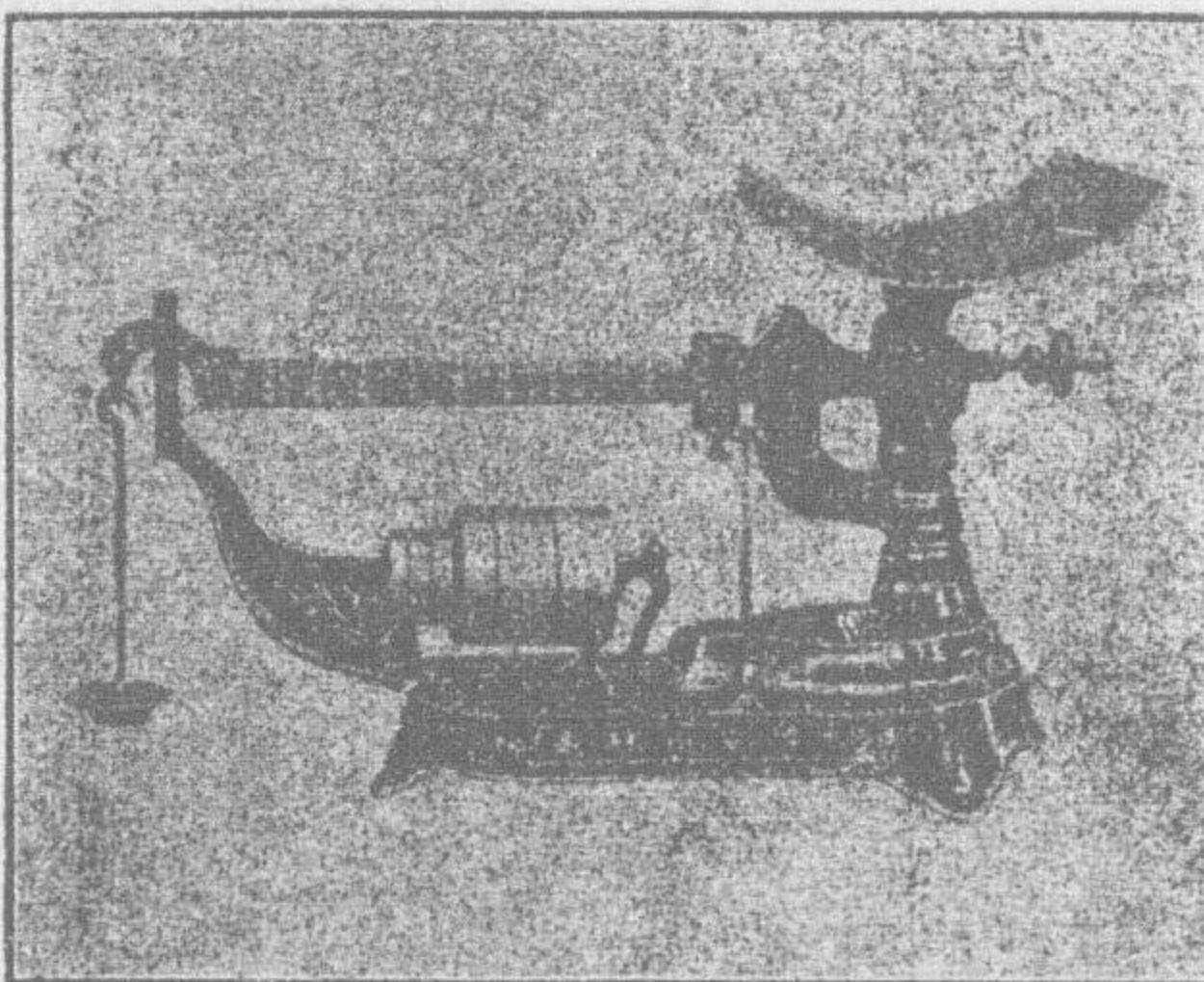
電話本所局  
振替  
座  
大阪一千五百一  
一五〇一  
三三五九四番



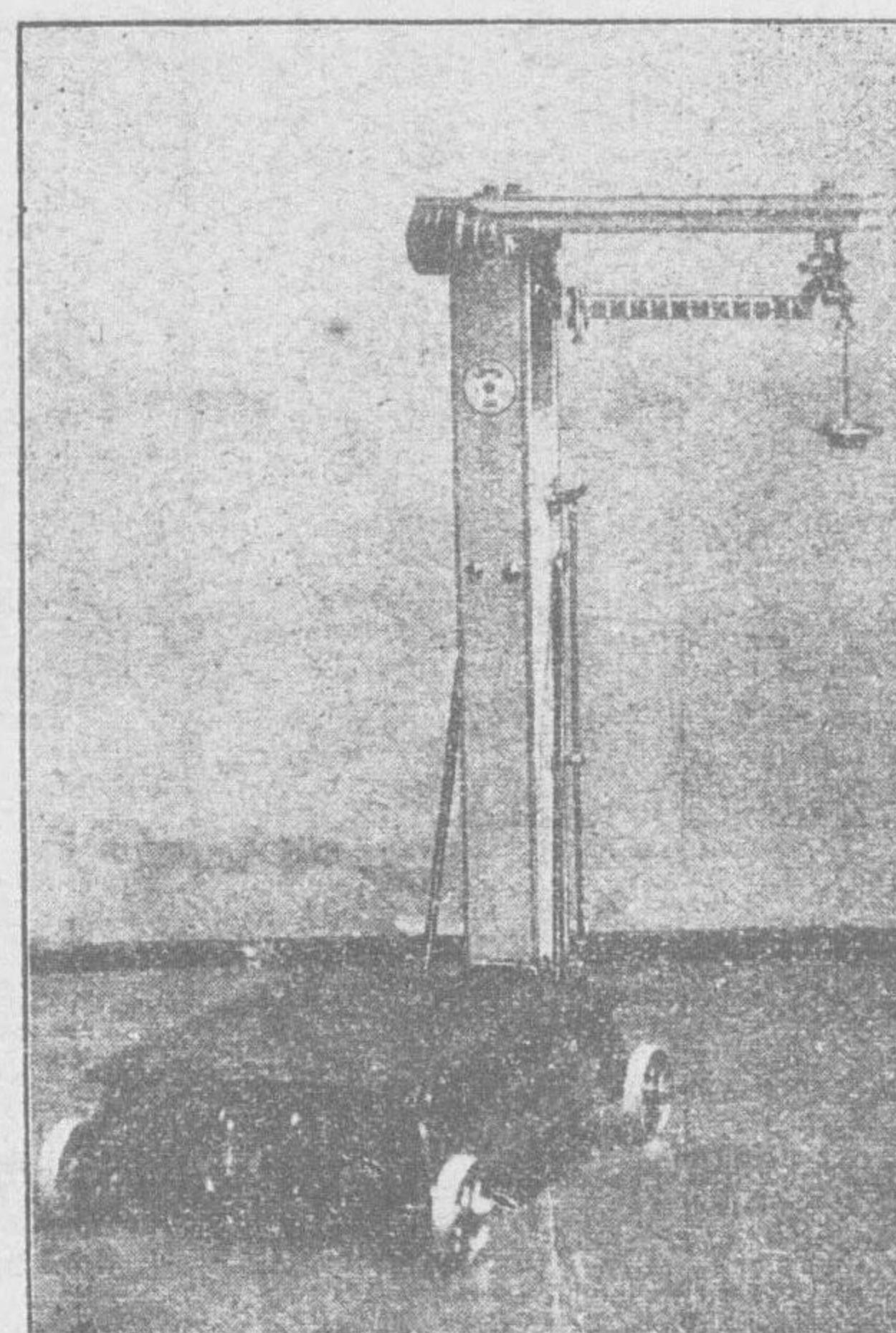
時下秋冷の候各位益々御旺盛之趣  
奉賀候陳者弊店儀從來薄利主義  
を本領として競争場裡に起ち只管  
熱誠と勉強とを以て御需用を充た  
し候爲め幸に今日の繁盛を見るに  
至り候段謹て深謝罷在候就ては此  
際層一層規模を擴大し設備を刷新  
し出來得る限りの薄利を以て御高  
需に應じ可申候間何卒倍舊御用命  
被仰付候様偏に願上候 敬白

- 時代の進歩に率先して時代の要求を充たし
- 正確無比の器物を破格の廉價に供給し
- 以て從來定評を得つゝあるは弊店のみ也

掛物萬製屬金總良改



秤臺シナ休良改





▼純麻製卷尺 ▼銅製直尺及折尺類

▼<sup>特製</sup>正鋼「ノギス」 ▼竹木縮尺及折尺類

▼日盛用櫛形一式製造販賣

◎但し「ノギス」は材料にても貴需に應じ可申候

(度器一般の特價表は御申  
越次第即時送呈可申上候)

●欺力ザル告白

◎◎◎東京淺草須賀町鴨下商店卸部は絶對に製作者にあらず  
◎◎◎度量衡器の販賣者にして度器卸賣専門なり  
◎然るに販賣者にして何故に製作者以上に時代の要求を充たすの定評  
を得つゝあるや  
◎ブロカートなるが故に一方に偏せず即ち薄利多賣主義を本領として高  
需を仰ぎつゝあれば也

測度量衡器  
製圖用紙文房具類  
各種定規類  
販賣



東京市淺草區須賀町貳番地  
鴨下商店卸部

電話下谷五三六八番振替口座東京二四二四一番

店主

鴨下正三

弊店に於て客年中農商務省より御不用の検定用  
天秤大中小各種御拂下相願各地衡器製作者諸彦  
に御分讓致候へ共尙殘品持合有之價格は格外の  
安價に差上得られ候間御希望の方は至急御申越  
被下度奉願候 敬具

東京市京橋區南傳馬町二丁目二番地

衡器製作  
度量衡器販賣  
  
納村三郎

電話京橋一七九二番  
振替貯金口座一一四二九番



# 度衡器製作 賣販

創業三百年の遺業を繼承して記號に不朽の信用を得たる守隨商店は客年以來一躍規模を擴大して設備を刷新し熱誠と實着を本領として各位の需用を充しつゝあり若し夫れ器物の堅牢正確なる特點を附言せんか即ち自重的責任製作を勵行するにあり請ふ倍舊の眷顧を垂れ給はんことを

大正二年九月

店主 吉田 龜吉



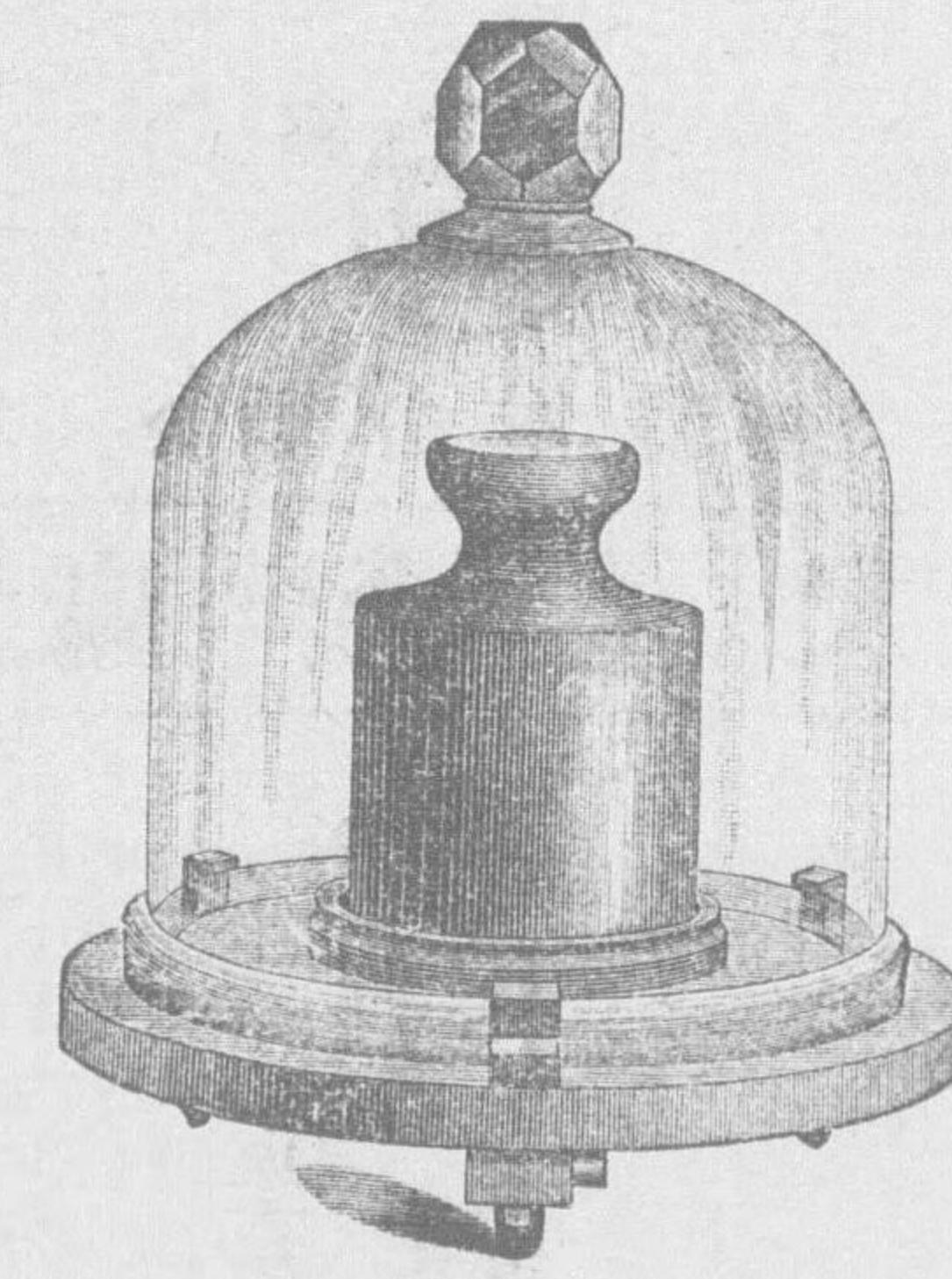
度衡器製作 守隨商店

電話本局一五一〇番 振替東京二二二六〇番

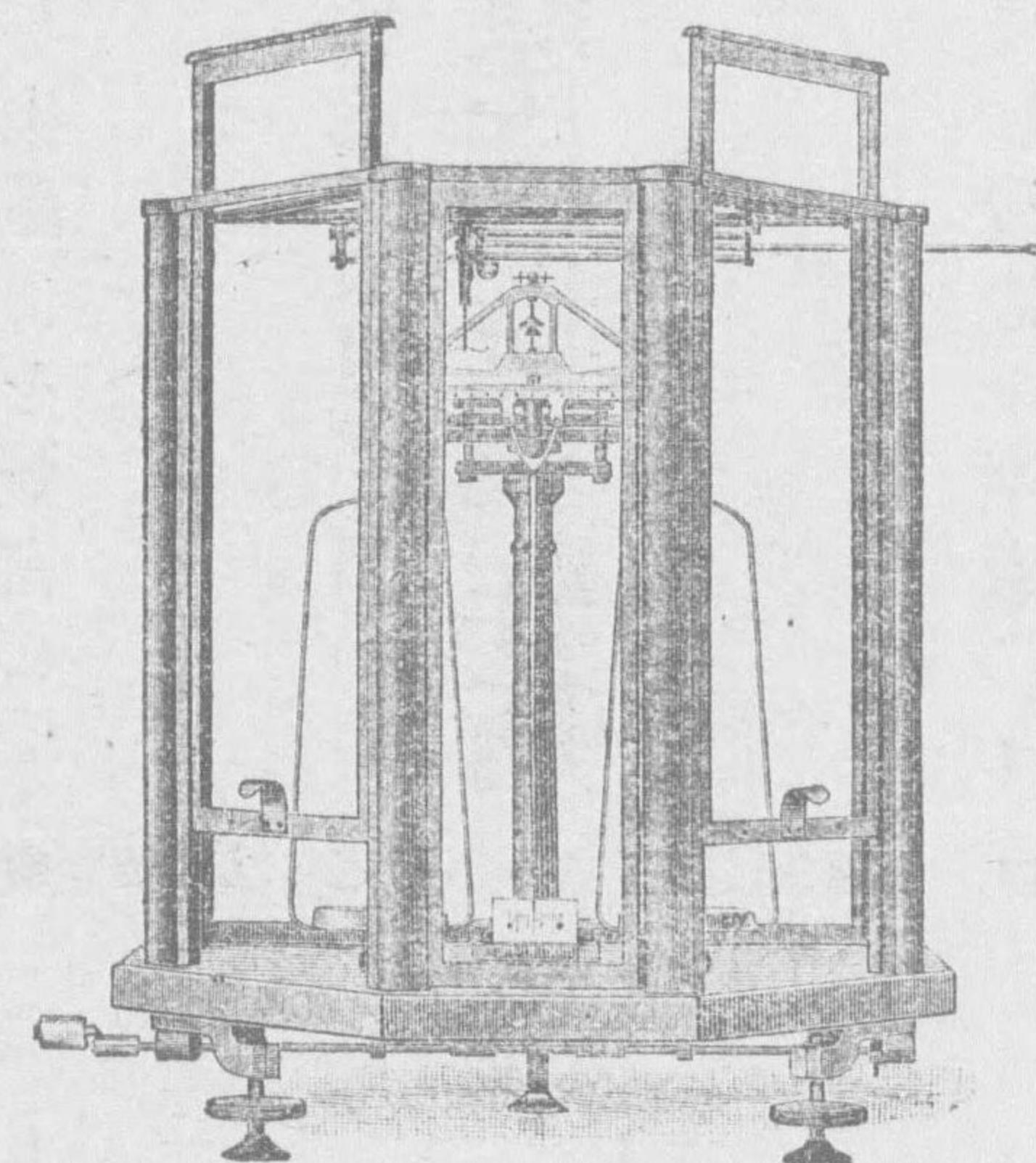
東京市京橋區南傳馬町二丁目

京東  
四  
動力作業  
尺 卷 製 麻  
専門 桑原度器製作所  
東京市淺草區千束町壹丁目  
振替口座東京二二二六〇番  
● 動力作業は工費を節減し生産力を豊富にす  
● 動力作業は器物を統一にし價格を至廉にす  
● すせ要を言贅て取りあ評定に已は物器

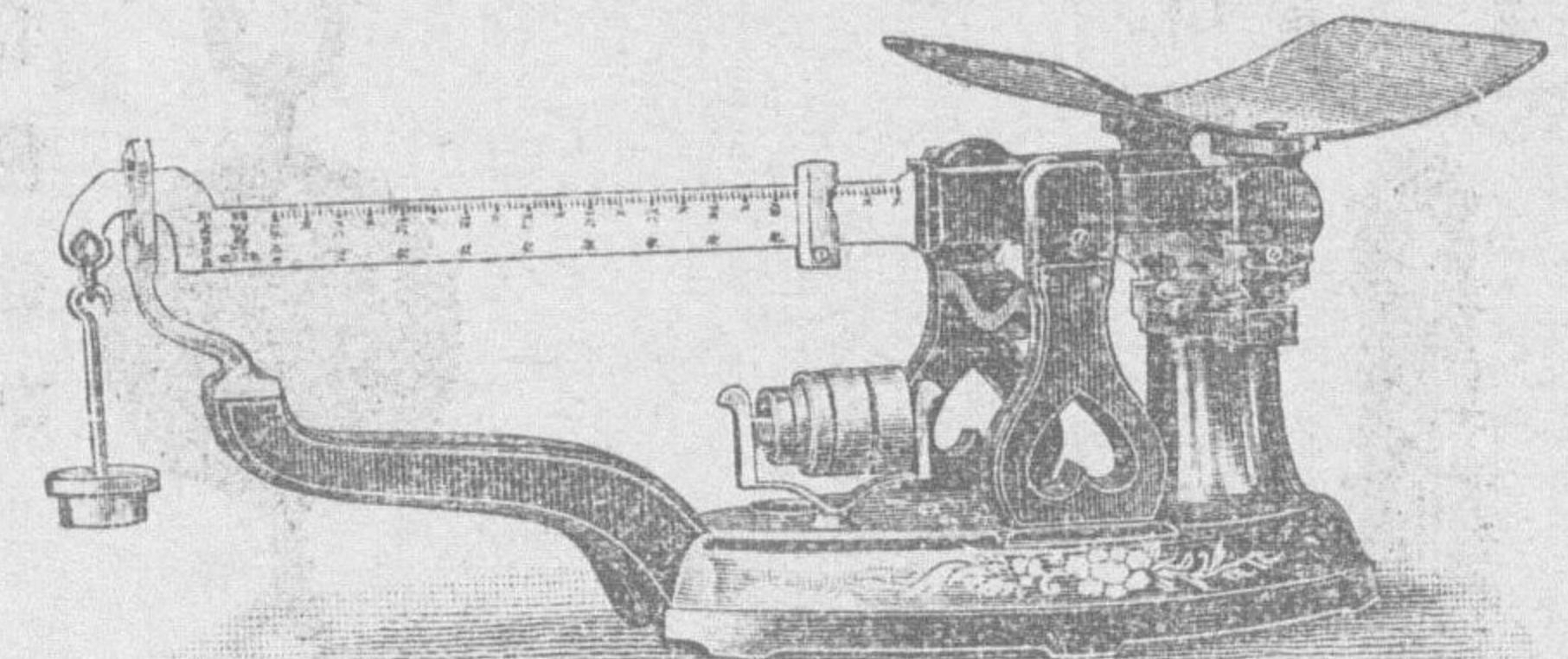
衡製原器



理化用天秤



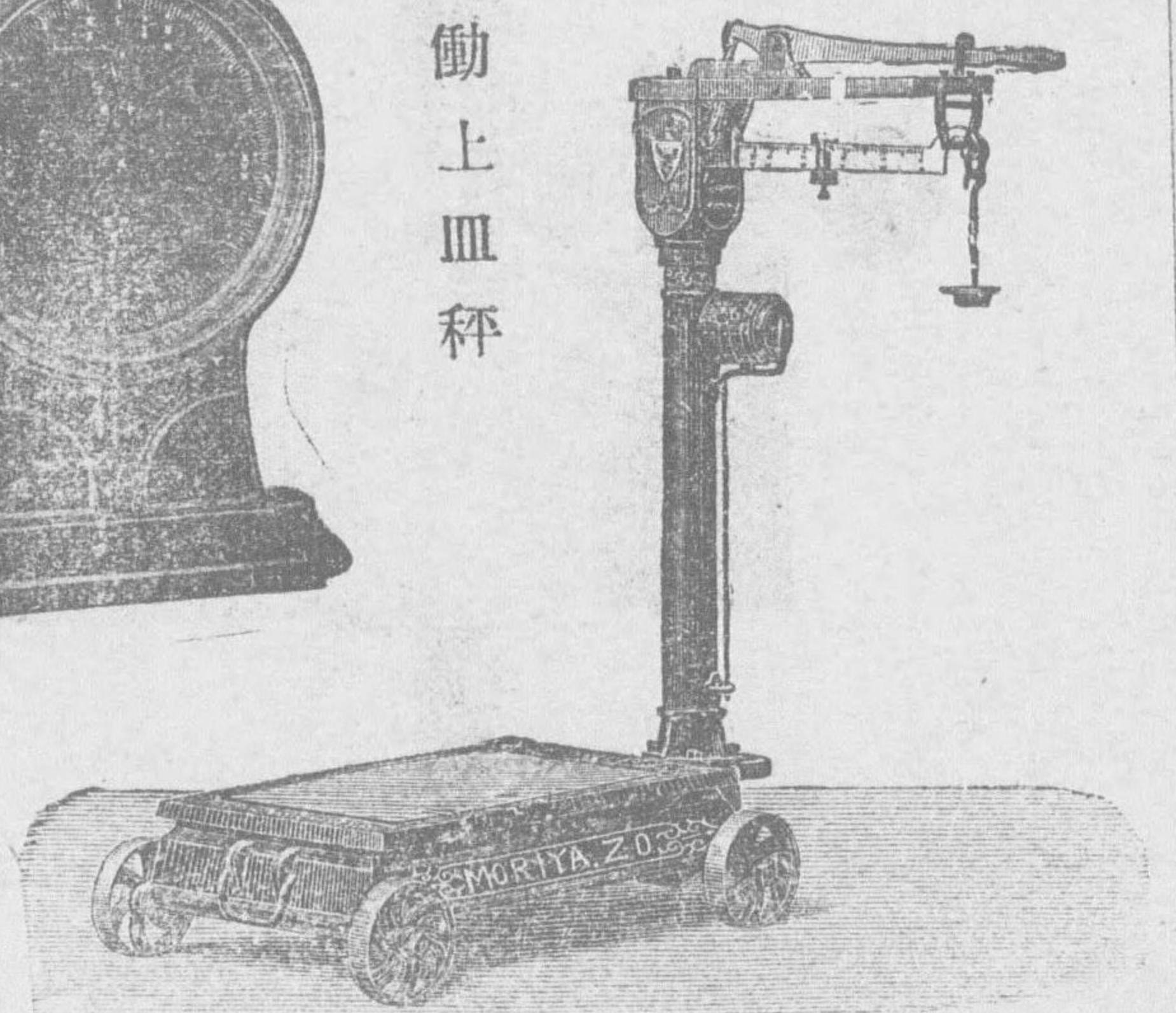
上皿桿秤



休付臺付秤

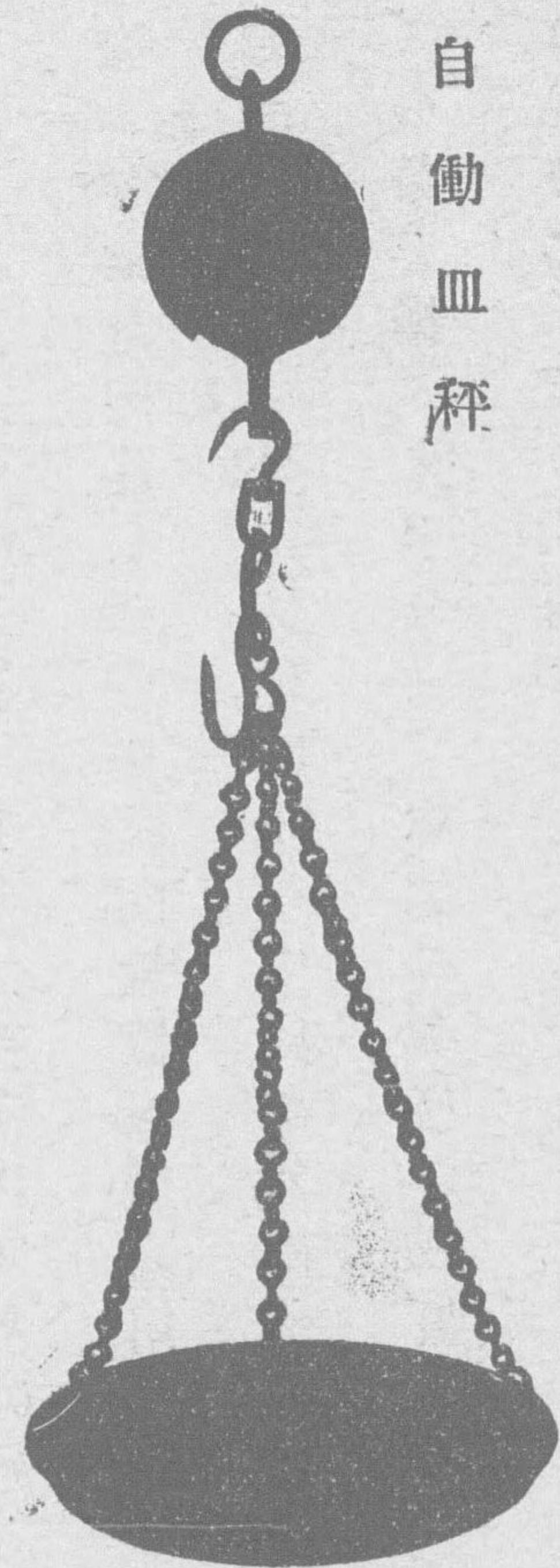


自動上皿秤



# 藍綬褒章受拜

大正二年七月



自動皿秤

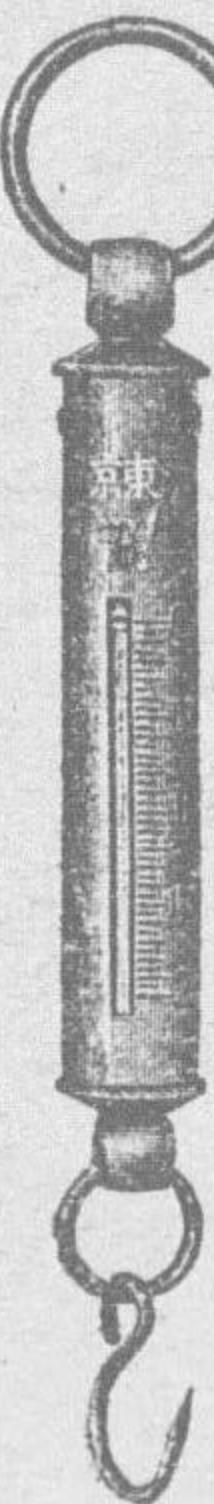
東京市本所區菊川町六十五番地  
守谷定吉工場  
諸器械製造販賣  
度量衡器製作  
電話本所 二四二一六番  
營業用特長三一七二四二一六番

東京市神田區富山町二番地

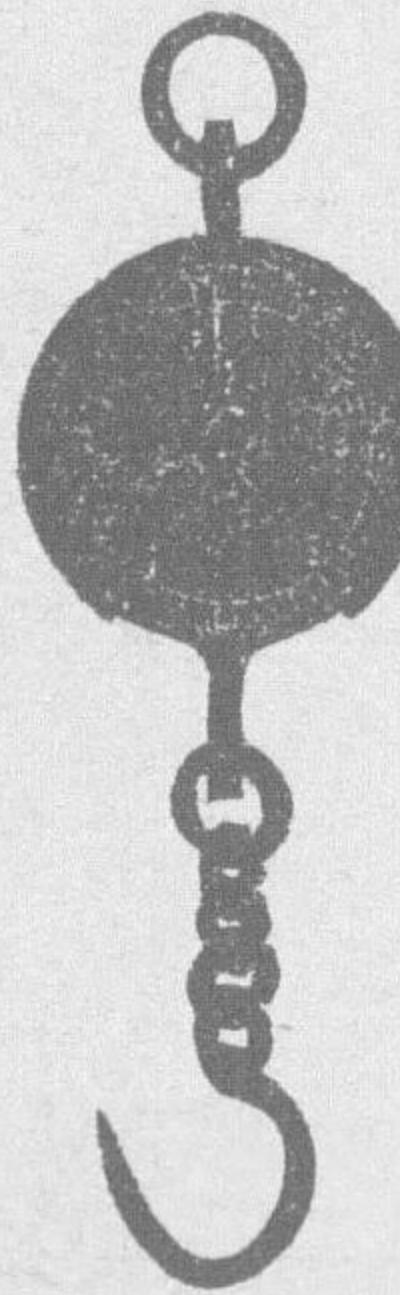
守谷定吉

電話本所 二四五番

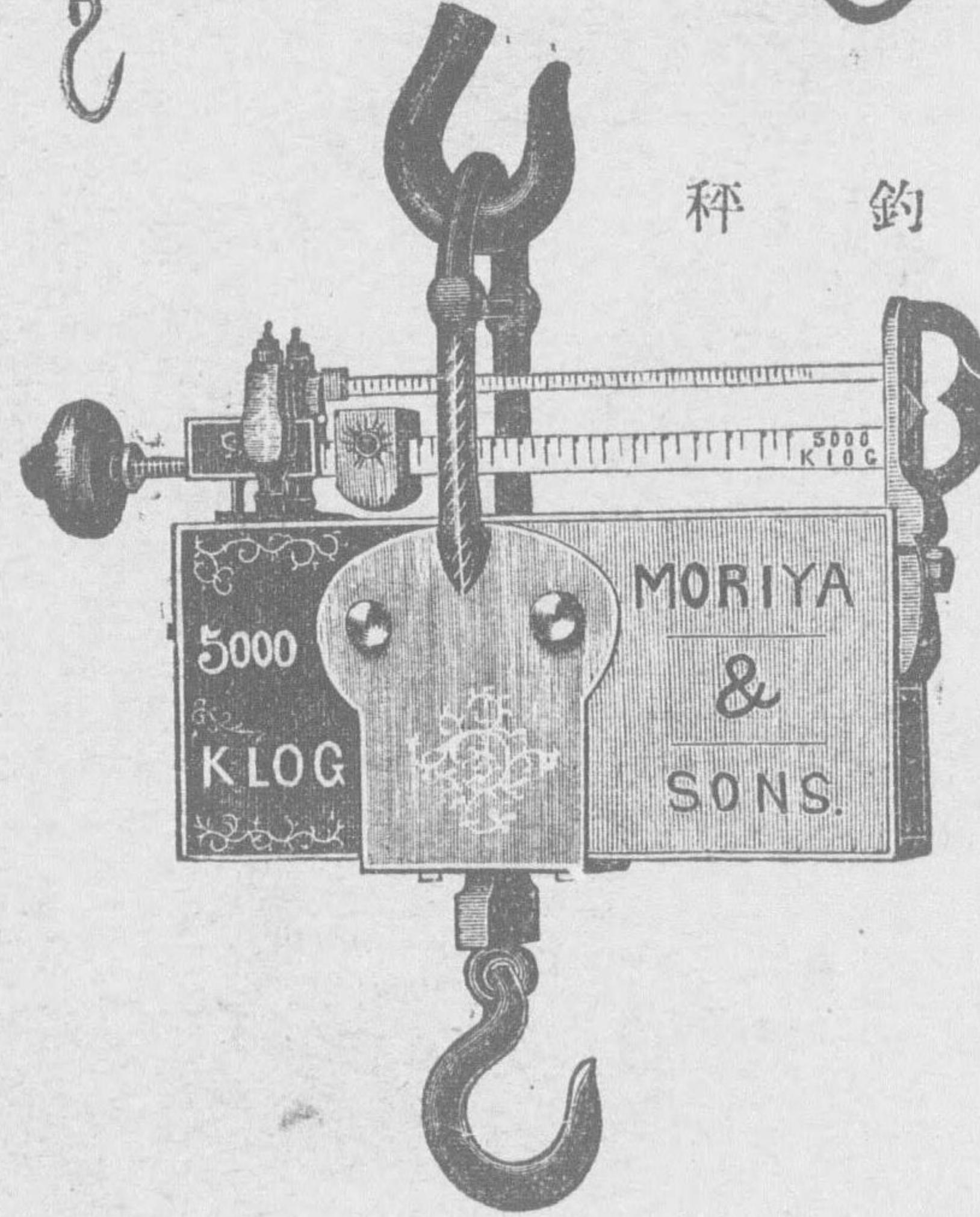
自動手秤



自動鍵秤



釣秤



弊店は創業以來茲に二十有餘年此間製作上の細技に至るまで店主自ら之れが監督の衝に當り幾多の實驗と辛酸とにより覺得したる處尠からず今や度器各種全部に涉り製作上の巧を競ひ得るの域に進み製品は次第に御好評を蒙り徵兵検査用の身長計金線入卷尺其の他精密用度器の如きは各官廳より指命御買上を蒙り又測量器械製圖用コンパス等の製品に就ては金工協會競技會に於て名譽一等賞を受領するの榮を擔ふに至り近來急速に業務の擴張を爲さざるべからざるに至り工場は現に淺草區内に四ヶ所下さざるべからざるに至り工場は現に淺草區内に四ヶ所下

谷區内に一ヶ所日本橋芝兩區内及び神奈川縣足柄下郡に各壹ヶ所を有し百有餘名の職工を使役するの盛況に達し候は偏に各位御愛顧の賜と奉感謝候就而は將來益々奮勵優良品の作出に努力仕御信用に背かざらむことを期し候

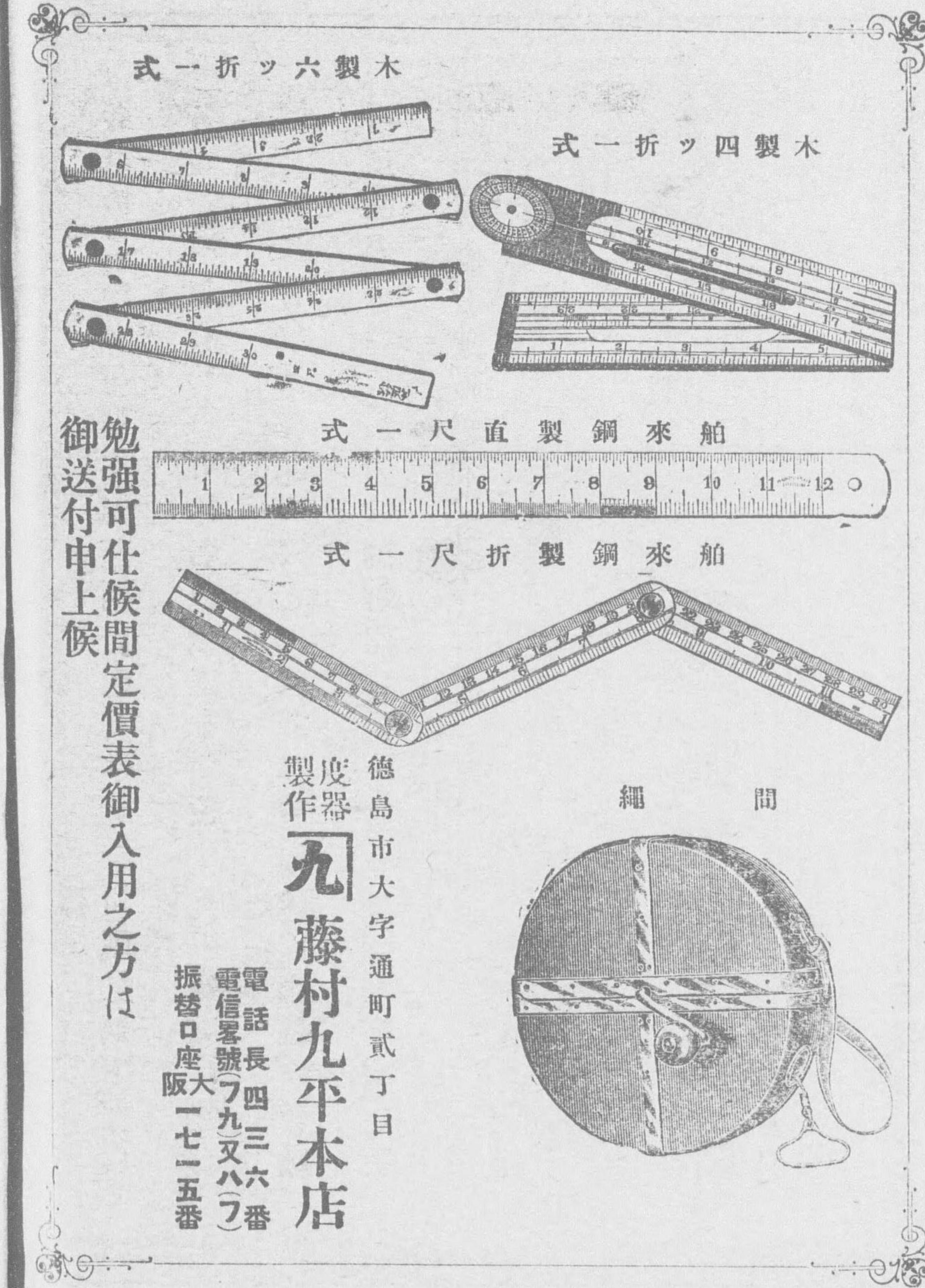
間一層御引立の程奉希候 敬白

東京市淺草區馬道町七丁目五番地

度器全部製作  
測量衡器販賣  
附屬品用紙器具

記作製號

力 鴨 下 道 太 郎  
電話下谷一四七四  
電信略號(カ)又ハ(カモ)



發行所

日本度量衡協會

東京市麹町區有樂町一丁目四番地

印刷所 東京並木活版所  
電話下谷三〇五五

東京市淺草區黑船町二十八番地

編輯兼發行者 齋藤祐記

全國度量衡製造販賣者名簿  
附定價金式圓

大正二年九月三日印刷  
大正二年九月六日發行

東京市本鄉區本鄉三丁目十五番地

記號 東京量器製造合名會社

電話下谷一一二一九  
振替東京一八二九一

# 化學用量器 玻 璃 槌 製 作 販 賣

發行所

日本度量衡協會

東京市麴町區有樂町一丁目四番地

印刷所 東京並木活版所  
電話下谷四百〇五番

東京市淺草區黑船町二十八番地

印刷者 池田晴三

東京市本鄉區駒込動坂町百十番地  
編輯兼發行者 齋藤祐記

大正二年九月三日印刷  
大正二年九月六日發行

全國度量衡  
製作販賣者名簿 與附

定價金貳 圓

東京市本鄉區本鄉三丁目十五番地



東京量器製造合名會社

電話下谷一一二一九一  
振替東京一八二九一

化學用量器  
玻 璃 槌 製作販賣

號記

275

118

終